

なばり市議会だより

no. 56

平成22年4月
発行 ■ 名張市議会

● 議会広報特別委員会 ● 三重県名張市鴻之台 1-1-1 ● 電話 63-7834~5 FAX 64-8870 ● gikai@city.nabari.mie.jp

平成22年3月定例会

平成22年度当初予算など52議案を可決

3月定例会(第338回)は、2月23日開会、3月15日閉会の21日間の日程で行われた。

提出された案件は、平成22年度一般会計・特別会計・企業会計の当初予算11件、平成21年度補正予算13件、「名張市防災センターの設置及び管理」など条例の制定4件、「名張市監査委員条例」など条例の一部改正9件、名張福祉資金貸付事業特別会計条例の廃止、財産の取得、企業立地緊急措置条例による施設指定、公の施設の指定管理者の指定2件、市道路線の認定3件、人事案件3件、議員提出4件、請願6件の全58案件

このうち、議員提出議案は、「指定専決処分事項」と、4月1日から議員の費用弁償を廃止することに伴う「議員報酬及び費用弁償に関する条例」の一部改正などである。

請願の審査の6件は「保育所などの環境改善」「公立保育所の存続」「子どもの医療費等窓口無料化」「細菌性髄膜炎ワクチンの公費接種一米価の回復と価格安定」および「EPA・FTA推進路線の見直し」である。

これら6件は、本会議、予算特別委員会、常任委員会で慎重に



完成間近の新消防庁舎と防災センター

22年度当初予算

審議し、52議案を原案通り可決し、請願2件を採択、4件を不採択とした。

一般質問は、7人の議員が行い、市政全般にわたり当局の考え方をたじた。

一般会計

骨格予算でスタート
233億4300万円を計上

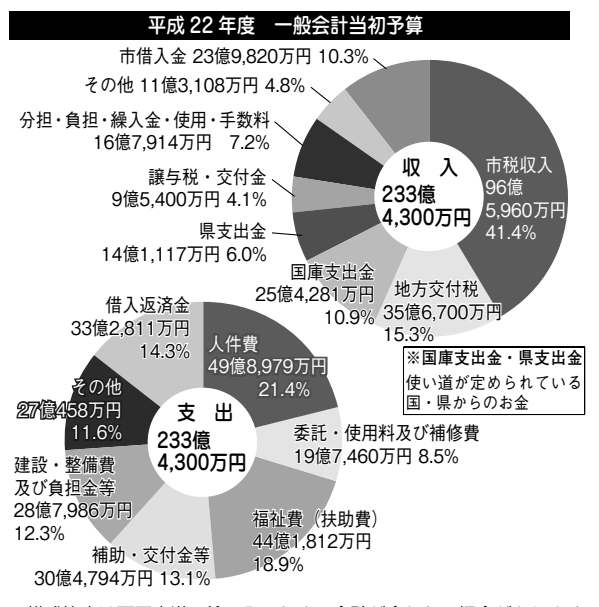
一般会計当初予算は、4月の市長選挙を控え、義務的経費や継続事業経費を中心とする骨格予算だが、国の政策である子ども手当の計上、土地区画整理事業の清算の市償還金などの義務的経費の増加などにより、前年度と比較して4.8%増の233億4300万円である。

義務的経費の増額分17億7000万円を差し引いた当初予算の規模は、21年度7300万円となり、前年度と比較し6億9500万円、3.1%の減額である。

主な事業は、ソフト事業では、子ども手当給付費、市税などの取納強化対策費、民営化する4保育所の民間保育所措置費、雇用対策の、ふるさと雇用再生特別基金事業や緊急雇用創出事業などである。ハード事業では、新消防庁舎および防災拠点施設の整備や、小中学校の耐震改修事業などである。

特別会計

8特別会計、総額156億8700万円を計上。
主なものは次のとおりである。



※構成比率は万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合があります。

企業会計

〔病院事業会計〕

〔福祉資金貸付事業〕

〔簡易水道事業〕

平成22年度から廃止した。

平成21年度補正予算

平成21年度の最終予算の主なものは、事務事業や人件費の精査および国の経済対策による地域活性化・臨時交付金を活用した事業の追加などである。

議員の質疑終了後、委員会付託を省略し採決を行い、全員異議なく可決した。

〔東山墓園造成事業〕
第4期造成分の貸付事業収入のほか、公債費など8400万円。

〔農業集落排水事業〕
赤日南部地区の事業推進費、各施設管理費および公債費など7億3700万円。

〔公共下水道事業〕
処理施設増設工事、戸別浄化槽整備費など20億4200万円。

〔福祉資金貸付事業〕
〔簡易水道事業〕

〔病院事業会計〕
〔福祉資金貸付事業〕
〔簡易水道事業〕

一般質問

質問は議員から提出された原文を尊重し、編集して掲載しています。

【民主クラブ】柳生 大輔
高専誘致成功させよ

Q 市は皇學館大学の撤退に伴い、近畿大学工業高等専門学校を誘致するために移転協議基本合意書を締結し、その交渉を進めている。同校の誘致は、市民交流や産業界との連携など名張市にとって大変有益なことだ。このようなチャンスは二度とないもので是非とも成功させなければならぬ。市の近大高専誘致にかける思いを問う。

A 現在、最終合意に向け、双方鋭意努力している。この近大高専誘致は、名張市の高等教育の充実や、地域・産業界、さらに経済に与える効果など、市の活性化に大きく寄与するものだと考える。誘致の成功に向け、一意専心の思いで大学側と交渉に当たっていく。

職員数の適正化図れ

Q 市の一般行政職員数は、平成14年の666人から現在551人とこの8年間で115人の削減となっている。この削減は、国の「基本指針2006」や市の「第一次定員適正化計画」の目標削減率を遙かに上回っている。

A 平成21年度より名賀医師会・伊賀歯科医師会・伊賀薬剤師会・訪問看護ステーションなどと検討を重ねてきた。医療職・介護職・地域ボランティアの皆さんでチームを組む形で、平成23年度より在宅医療(地域医療)を実施する。

教育センター構想は

Q 現在の多様な教育現場の問題を解消するためには、(仮称)

る。市は引き続き職員数の抑制を推進する方針だが、その必要があるのか。現行の職員年齢別構成は50代が4割を占め20代が極端に少ないといった、いびつな状況だ。これは将来的に行政の遂行・運営での大きな問題だ。この状態をどう考えるか。

A 職員数の適正化の取組みは、中長期的展望のもと、職員の補充や年齢の平準化を図る観点も含め、第二次名張市定員適正化計画」を策定し対応する。

【公明党】細矢 一宏
在宅医療実施は

Q 「生涯自宅ですごしたい」「住み慣れた地域で生活を送りたい」といった希望は非常に多い。社会福祉の方向は在宅サービスへとシフトし、名張市では「地域づくり」が推進され、これらの望みが実現できるよう整備が図られてきた。医療での在宅サービスも早急に必要だ。在宅医療の実現に向けた計画を問う。

A 平成21年度より名賀医師会・伊賀歯科医師会・伊賀薬剤師会・訪問看護ステーションなどと検討を重ねてきた。医療職・介護職・地域ボランティアの皆さんでチームを組む形で、平成23年度より在宅医療(地域医療)を実施する。



教育会館みなくる

【日本共産党】三原 淳子
保育に責任を持つ

Q 9月議会で、保育所の全園民営化はできないと明らかにしたが、公立保育所を何で運営されるが、民営化要項および移管先法人への事業条件を遵守することを求める。新設の1園についても、名張市の保育基準の遵守を求める。民間保育所に運営費が払われるが、使途を公開し、民間任せにすることなく、市が責任を持って保育を守れ。

A 月までに公表する。要項と事業条件は必ず遵守する。守れない場合は移管の取り消しもある。新設の保育所も同様である。運営費は毎月、法人と協議し清算する。法人が保育をできなくなった時は、市が責任を持つ。

【希望の党】浦崎 陽介
希望の党の中学校給食

Q 市長の平成14年度公約である中学校給食は、約束を守るつもりがあるのか。これまでは給食時間の確保や財政難のため、長期課題にしていると聞いているが、長期とはいつなのか。3期目当選の際、公約の取組みをするのか。伊賀市は給食センター「夢」を総事業費約9億円で行っている。名張市では校区再編で廃校になる学校を、給食センターに改修できないのか。3分の1ほどの予算でできそうか。



名張西保育所

中学校給食の実施は

Q 学校給食法では、第一条で「子どもであるいは生徒の心身の健全な発達に資するため」に学校給食を行う」とし、第二条で「学校そのものが、給食があることにより豊かになり、人間性あふれるものにし、日本の食料の生産、流通、消費の理解を深め世界に目をむける視野をもつこと」を目標に55年前から制定されている。中学校給食は、全国80%の自治体で実施されているが、名張市はいまだに実施していない。学校給食法に基づき、中学校給食を実施せよ。

A 県下の中学校給食実施状況を調査したら、デリバリー給食など何らかの形で80%、完全給食が51%だ。成長期の子どもの食育の効果も含め検討課題である。

Q 平成25年度以降

A 市長の平成14年度公約である中学校給食は、約束を守るつもりがあるのか。これまでは給食時間の確保や財政難のため、長期課題にしていると聞いているが、長期とはいつなのか。3期目当選の際、公約の取組みをするのか。伊賀市は給食センター「夢」を総事業費約9億円で行っている。名張市では校区再編で廃校になる学校を、給食センターに改修できないのか。3分の1ほどの予算でできそうか。

A 廃校転用は所管大臣の承認が必要だが、認められると思う。厳しい財政状況の中、早期には難しい。平成25年度以降は単年度黒字になるのでそれからだ。

【自由クラブ】中川 敬三
田満解約はできるか

Q 市長は、斎場の建設位置の変更の際に、既に斎場用地として取得済みの土地および補償費約6億円に対し政治生命を懸けて田満解約する(二重投資は回避する)と確約したが、その契約は既に裁判で確定されている。どのようにして田満解約ができるのか。政治生命を懸けるの意味は極めて重い。

A 民事訴訟の結果、契約は成立している。法廷において係争中であり、今は話し合える環境はないが、話し合える環境を作りたいとの考えは現在も変わりない。政治生命を懸けるの意味は、誠心誠意解決のために当たらせてもらうことだ。

A 以前公安委員会との協議で、幅員がないために歩道としての塗布は不可能だが、子どもの安全確保のための塗布なら可能だ。新年度予算で対応する。区間は、雇用促進住宅から御子池まで延長は310m、予算は150万円程で考えている。工事着手は、上半期の早い時期に進める。



グリーン塗布される道路

【自由クラブ】中川 敬三
田満解約はできるか

Q 市長は、斎場の建設位置の変更の際に、既に斎場用地として取得済みの土地および補償費約6億円に対し政治生命を懸けて田満解約する(二重投資は回避する)と確約したが、その契約は既に裁判で確定されている。どのようにして田満解約ができるのか。政治生命を懸けるの意味は極めて重い。

A 民事訴訟の結果、契約は成立している。法廷において係争中であり、今は話し合える環境はないが、話し合える環境を作りたいとの考えは現在も変わりない。政治生命を懸けるの意味は、誠心誠意解決のために当たらせてもらうことだ。

「公明党」石井 政
脳脊髄液減少症

【Q】 脳脊髄液減少症は、交通事故を始め、転倒やスポーツ外傷、体に衝撃を受けたことなどが原因で脊髄硬膜から脳脊髄液が漏れ、脳脊髄液が減少する病気だ(頭痛・めまい・吐き気・倦怠感など)。子どもでは、思春期に現れる起立性調節障害などの病気と症状が似通っており、適切な診断治療までは時間がかかる。他県・県内市町では、教育委員会のホームページで周知や専門病院を紹介している。市の対策を問う。

【A】 この病気は、診断が非常に難しく、適切に診断できる専門病院も限られている。教育現場で教諭に研修を実施している。今後、市のホームページ掲載も含めどのように周知するか検討する。

地域予算の理解度

【Q】 平成15年4月にゆめづくりに地域予算制度がスタートした。自己決定・自己責任で予算の自由度が増し、地域の特色を生かしたまちづくりが特徴だ。しかし、地域によっては、役員が短期間で交代するところもあり、地域ビジョンの創造が困難だ。地域予算制度の理念や仕組みが、住民の自発的行動につながるまで理解が浸透していないと考える。今後、市民に制度の理解が深まるよう継続して取り組むべきだ。

【A】 地域予算制度は8年目を迎える。いまでは、先進的な取り組みを行なっている地域もある。地域づくり実践交流会で地域予算制度について説明している。「地域づくり手引き書」などを発行する。

「自由クラブ」梶田 淑子

【Q】 基本合意は無効

【A】 無効にならない。議会を無視して近大高専と基本合意締結に調印した。1月8日の全員協議会に出された誘致に伴う支援内容(隣接市有地、年間136万円の賃貸が無償提供になり、皇學館大学誘致の際と同様に、移転に伴う校舎などの増改築、運動施設の整備、移転費用などに対する財政支援など)と大きく違っている。この合意書は、第7条にうたわれない2月末日までに合意に至らない場合は無効となる。いままの時点で無効であるが、どうか。

【A】 話し合う確認のための合意書である。7条で定めている無効は事実であるが、話し合いの中では無効にならない。近大との合意の中でうたったものである。

近大高専の生徒は

【Q】 熊野の近大高専の生徒や移転を知り打撃を受けて、大混乱していることを市長は知っているはず。近大高専の存続を願う親の会の要望が7487人の署名を付けて2月24日に近大法人に提出された。この親や子どもへの思いは、わが身に置き換えたとき、名張の子どもを熊野へ移転せよと言われ

たら、親として同じように反対をする。学校の誘致は、建物をたたくもつてくるだけでは駄目。学校は教育の現場。学ぶ生徒への義務と受ける権利がある子どもの事は、考えなかったのか。

その他の質問

「児童保育内容の充実」

【Q】 昨今の社会情勢から児童保育の定員増への対応、保育時間の延長、土曜日の開所などの要求が出ている。地域によって内容が異なっているようだが、地域の代表者による連絡協議会で情報交流し、市内公平に児童保育施策の充実を求めるがどうか。

【A】 希望者は年々増えており働き方に合わせた対応が必要と認識している。桔梗が丘小学校は増設が済み、平成22年度で名張小学校と蔵持小学校を増設する。運営協議会には実務者に加え、内容の充実を図る。



桔梗が丘小 学童保育

川合 滋

「容リプラの資源化」

【Q】 容器包装リサイクルプラスチック(容リプラ)は、資源回収より焼却処分した方が安価だと勘違いしている市民がいる。比較するとどちらが安価か。分別精度はどうか。

【A】 焼却処分をすると、1トン当り約2万1千円程度。容リプラ資源なら、約1万5千円程度。容リ資源のほうの方が安価である。容リ協会への引渡しは、排出量の53%。市民の分別協力などで、きれいな容リ物の引渡し量が増加すれば、もっと安価になる。容リ協会からの協力金も増額される。



容リプラ手選別作業

【A】 希中央の事業費14億円、土地の開発公社5億円、病院への繰り出しなど、多額のお金が必要だ。国の財源確保が本当にできるか、信用できない。



公共用地的有効利用

高田 稔嗣

「公衆道路の管理」

【Q】 昭和から平成初期に開発された1000㎡以下の小規模住宅地は道路や排水路の状況が厳しい環境となり日々苦慮している。公衆道路のため行政支援はできないと言いが、住民より税を徴収している。民法では土地の権利について制約もしている。行政は開発地内の道路環境がいくらか悪化しようと整備を放置するのか。住環境整備のあり方を次議会までに検討せよ。

【A】 管理していく場合、公共性、道路基準、行政への土地の帰属などを含め検討していきたい。

松崎 勉

「国勢調査」

【Q】 国勢調査の調査員を任命しなくてはならないが、守秘



義務の問題があり、どのようにしてお願しているのか。
【A】 区の代表者に協力をいたいただき、市民の秘密を守っていかなくてはならないことをよく説明して、お願いをしている。

吉窪 美智子

「子どもの読書活動」

【Q】 国は平成22年度、子どもの読書活動を推進する事業予算を大幅に縮減した。学校では朝の読書が定着し、子どもたちに落ち着きが出てきたり、遅刻やいじめが少なくなったなど、効果も出ている。本年は「国民読書年」でもあり、今後の市の取組みを問う。

【A】 県の「いきいき読書リレー」推進事業」を実施する。子どもたちが希望する図書を購入し、各学校でブロックを組み、学期ごとまわす。今後も定着した子どもの読書活動を継続し、推進する。

可決した議案

- 議案第1号 平成22年度名張市一般会計予算について
- 議案第2号 平成22年度名張市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
- 議案第3号 平成22年度名張市東山墓園造成事業特別会計予算について
- 議案第4号 平成22年度名張市農業集落排水事業特別会計予算について
- 議案第5号 平成22年度名張市公共下水道事業特別会計予算について
- 議案第6号 平成22年度名張市国民健康保険特別会計予算について
- 議案第7号 平成22年度名張市老人保健特別会計予算について
- 議案第8号 平成22年度名張市介護保険特別会計予算について
- 議案第9号 平成22年度名張市後期高齢者医療特別会計予算について
- 議案第10号 平成22年度名張市病院事業会計予算について
- 議案第11号 平成22年度名張市水道事業会計予算について
- 議案第12号 名張市基金管理の特例に関する条例の制定について
- 議案第13号 名張市防災センターの設置及び管理に関する条例の制定について
- 議案第14号 名張市債権管理条例の制定について
- 議案第15号 名張市農村ふれあい交流空間整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について
- 議案第16号 名張市監査委員条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第17号 名張市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第18号 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第19号 名張市応急診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第20号 名張市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第21号 名張市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第22号 名張市消防団に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第23号 名張市水道給水条例の一部を改正する等の条例の制定について
- 議案第24号 名張市福祉資金貸付事業特別会計条例を廃止する条例の制定について
- 議案第25号 財産の取得について
- 議案第26号 公の施設の指定管理者の指定について(名張市農業研修センター)
- 議案第27号 公の施設の指定管理者の指定について(名張市青少年センター)
- 議案第28号 滝之原工業団地企業立地緊急措置条例による施設指定について
- 議案第29号 市道路線の認定について
- 議案第30号 市道路線の認定について
- 議案第31号 市道路線の認定について
- 議案第32号 平成21年度名張市一般会計補正予算(第7号)について
- 議案第33号 平成21年度名張市福祉資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)について
- 議案第34号 平成21年度名張市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第35号 平成21年度名張市東山墓園造成事業特別会計補正予算(第1号)について
- 議案第36号 平成21年度名張市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について
- 議案第37号 平成21年度名張市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について
- 議案第38号 平成21年度名張市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について
- 議案第39号 平成21年度名張市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
- 議案第40号 平成21年度名張市老人保健特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第41号 平成21年度名張市介護保険特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第42号 平成21年度名張市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について
- 議案第43号 平成21年度名張市病院事業会計補正予算(第2号)について
- 議案第44号 平成21年度名張市水道事業会計補正予算(第2号)について
- 議案第45号 職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第46号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案第47号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案第48号 人権擁護委員の推薦について
- 議員提出議案第1号 地方自治法第180条第1項の規定による指定専決処分事項について
- 議員提出議案第2号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議員提出議案第3号 保育所・児童入所施設的环境改善を求める意見書の提出について
- 議員提出議案第4号 細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種の早期実現を求める意見書の提出について

請願について

- 請願第1号 保育所・児童入所施設的环境改善を求める意見書の提出を求める請願→採択
- 請願第2号 公立保育所の存続及び移管先法人への遵守条件の遵守及び履行の請願→不採択
- 請願第3号 子どもの医療費等の窓口無料化を求める請願→不採択
- 請願第4号 細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種の早期実現を求める請願→採択
- 請願第5号 米価の回復と価格の安定、ミニマム・アクセス米の輸入中止を求める請願→不採択
- 請願第6号 E P A ・ F T A 推進路線の見直しを求め、日米 F T A の推進に反対する請願→不採択

議案番号	議員名																		
	浦崎	森脇	細矢	三原	高田	田合	吉佳	石井	永岡	川合	福田	中川	松崎	梶田	榎本	橋本隆	橋本マ	柳生	山下
議案第1号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	×	○	○
議案第6号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○
議案第8号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○
議案第9号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○
議案第23号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
請願第2号	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	欠	○	×	×
請願第3号	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	欠	○	×	×
請願第4号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	欠	○	○	×
請願第5号	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	×	×
請願第6号	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	×	×

表決が分かれた案件

議長 藤島幸子は採決に加わりません。 ○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員、欠は欠席した議員

総務企画委員会行政視察報告

現在の名張市政に関連のある事項を中心として、福岡市・飯塚市・那珂川町を視察した。

○福岡市民防災センター(福岡市)

市民が各種災害を模擬体験し、防災に関する知識や技術、行動力を身につけることを目的とする市民防災センターについて学んだ。現在建設中の総合消防庁舎にも、同様の設備の必要性を感じた。

○インターネット公売(飯塚市)

名張市では平成21年11月より不動産のインターネット公売を開始した中、動産のインターネット公売について学んだ。

○町への就職説明会(那珂川町)

近隣市へ流出しがちな人材を町内で確保するための、就職説明会やオープンセミナーについて学んだ。同事業は、若手職員の職員採用への参加希望の声を発端とした。同町職員の町政に対する積極的な姿勢を感じた。



教育民生委員会行政視察報告

市民の幸福を目的とした教育環境の整備について視察した。子どもたちを社会全体でなくむことの大切さや、高齢者の健康を保つライフスタイルなどについて学んだ。

○こどものまちの推進(沖縄市)

子どもにやさしいまち、子どもたちが夢に向かって元気にたくましく育つ環境づくりを目的として制定された「こどものまち宣言」および、こどものまち推進プランについて学んだ。

○健康長寿のまちづくり(うるま市)

隣接の金武町、宜野座村とともに、平成14年から10年計画で実施されている広域地域振興策「環金武湾振興QOL(クオリティ・オブ・ライフ)プロジェクト」について学んだ。

○総務大臣賞受賞の名護市民会館の取り組み(名護市)

名護市民会館で施行されているジュニアオーケストラや少年少女合唱団、児童劇団の育成といった子ども芸術支援事業や、広く芸術に親しんでもらうためのアウトリーチ事業(※)について学んだ。

(※)演奏家などがコンサートを行う機会を利用して、その合間に地元の学校などで演奏活動を行うこと



産業建設委員会行政視察報告

重点施策である観光振興の取組みとバイオマスタウン構想についての視察研修。

○北上しらゆり大使(北上市)

東北でも有数の工業集積地となっている北上市は、平成12年「北上しらゆり大使」を創設し、同市出身で首都圏で活躍している人やゆかりのある人など18人を大使として委嘱している。市の魅力を折に触れて宣伝し、まちづくりに役立つ情報や提言などを提供し、市の発展につなげている。

○木質バイオマスのガス化発電(奥州市)

奥州市では、地域新エネルギービジョンを策定し、そのエネルギーを活用したまちづくりに取り組んでいる。具体的な取組みの一つに「木質バイオマスガス化発電」を導入している。黒滝温泉に木質バイオマスガス化発電施設を併設し電気と熱が造られている。

○汚泥と生ごみのメタン発酵による再資源化(大崎地域広域行政事務組合)

汚泥は、今まで焼却処分していた。「汚泥再生処理センター」において処理過程で生じる余剰汚泥を生ごみと混合・発酵させバイオマスエネルギーとコンポストとして再利用を図っている。



インターネットで会議録を見ることができます

名張市議会、名張市議会事務局(市役所ホームページ内)のホームページからアクセスできます。

http://www.city.nabari.lg.jp/gikai/

おことわり

議員のお祝い金などの寄付行為につきましては、公職選挙法により禁止されています。皆さまのご理解をお願いします。

ご意見・ご要望をお待ちしています

議会広報特別委員会(議会事務局 ☎ 63-7835)

6月 議会の日程(予定) ※日程を変更する場合があります。

- | | |
|----------------|----------------|
| 6月10日(金) 開会 | 22日(木) 教育民生委員会 |
| 15日(木) 一般質問 | 23日(金) 産業建設委員会 |
| 16日(金) 一般質問 | 28日(木) 採決 |
| 17日(土) 一般質問 | |
| 18日(日) 補正予算 | |
| 21日(水) 総務企画委員会 | |

開会時間は午前10時からです。ぜひ、傍聴にお越しください。一般質問はケーブルテレビで放映されます。